

| | |
|------|---|
| 1・金 | 元日 小江戸川越七福神めぐり(～7) 休日当番医=赤心堂病院(整外・産婦・内・外)脇田本町25-19・TEL242-1181 |
| 2・土 | 休日当番医=広瀬病院(外・内・消内・消外)中原町1丁目12-1・TEL222-0533 |
| 3・日 | 初大師だるま市(小仙波町1丁目・喜多院) 休日当番医=池袋病院(内・小・外・整外)笠幡3724-6・TEL231-1552 |
| 4・月 | |
| 5・火 | 小寒 |
| 6・水 | |
| 7・木 | |
| 8・金 | 市立学校始業式 初吞龍 |
| 9・土 | |
| 10・日 | 広報川越発行日(1月2日からお配りする予定です) 110番の日 南大塚の餅つき踊り(西福寺) 消防出初式(丸広百貨店東側駐車場) 休日当番医=埼玉病院(内・呼・胃・放・循)西小仙波町1丁目8-3・TEL224-5911 |
| 11・月 | 成人の日 川越市成人式(川越運動公園総合体育館) 休日当番医=愛和病院(産婦)古谷上983-1・TEL235-8811 祝日収集=可燃ごみ(月・木コース)・その他プラスチック製容器包装(月コース) |
| 12・火 | |
| 13・水 | |
| 14・木 | |
| 15・金 | 青少年を育てる日 筒がゆの神事(石田・藤宮神社) 防災とボランティア週間(～21) |
| 16・土 | |
| 17・日 | 家庭の日 防災とボランティアの日 休日当番医=レディースクリニック小川医院(産婦)上戸296-2・TEL233-0310 |
| 18・月 | |
| 19・火 | |
| 20・水 | 大寒 |
| 21・木 | |
| 22・金 | 文化財防火訓練(喜多院ほか) |
| 23・土 | |
| 24・日 | 全国学校給食週間(～30) 休日当番医=かすみクリニック(胃・内・外・肛・呼)的場2836-33・TEL232-4560 |
| 25・月 | 広報川越発行日 |
| 26・火 | 文化財防火デー |
| 27・水 | |
| 28・木 | 成田山のみの市 |
| 29・金 | |
| 30・土 | |
| 31・日 | 休日当番医=片岡耳鼻咽喉科気管食道科医院(耳・気)的場北1丁目3-9・TEL231-3941 |

■主な月間 「はたちの献血」 キャンペーン(～2/28)

休日の診療機関(電話のかけまちがいに、ご注意ください)

内科・小児科=市立診療所(小仙波町2丁目45-5・TEL223-0601) 受付時間…午前9時～11時・午後1時～3時・午後8時～10時30分

*小児科の診療(急患のみ)は、月～金曜日の午後8時～10時にも行っています。

休日当番医=受診の際は、事前に当日の休日当番医にご確認ください 受付時間…午前9時～午後4時

歯科(急患のみ)=予防歯科センター(三久保町18-3・TEL224-3891) 受付時間…午前9時～11時30分

市税・国民健康保険税の収納窓口の延長(1月18日(月)～22日(金))

午後7時まで収税課・国民健康保険課(本庁舎2階)の窓口を延長します。市税の納付や納税相談などにご利用ください。

問い合わせ…収税課滞納整理担当・TEL224-5691▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

伝統的な技能・工芸・文化に貢献

初雁賞を受賞した皆さんです

川越市は、大正11年12月1日に県内で初めて市制を施行し、今年で八十七周年を迎えました。12月1日の市民の日に、平成21年度川越市表彰式がやまぶき会館で行われました。

初雁賞とは、長年にわたり研さんを重ね、川越の貴重な文化などの継承と発展に貢献された方を顕彰するものです。今回は、五人の皆さんが受賞しました(50音順)。

問い合わせ：秘書室・TEL224-5491



菓子製造職
久保田一郎さん

(73歳/元町二丁目)

菓子屋横丁であめ作り一筋に従事。手作業にこだわる昔ながらの製法で、伝統の味を守り続けています。色鮮やかで美しい組あめや玉あめに定評があります。また、店頭であめ作りを演じ、訪れる皆さんの目と舌を楽しませています。



舟運史研究家
齋藤貞夫さん

(71歳/砂新田)

舟運史研究家として、新河岸川の舟運を研究されています。川越が小江戸と呼ばれるほど繁栄したこと、舟運との関係を明らかにしました。多数の著作を通じて、舟運の歴史を次世代に伝承する重要な役割を担っています。



織物製造職
西村芳明さん

(89歳/入間市)

江戸時代から明治時代にかけて人気があった縞木綿の「川越唐棧」。これを現代によりみがえらせることに成功しました。「川唐」の愛称で親しまれていた川越唐棧を普及させようと、市内の市民団体を対象にした技術指導に尽力しています。



建築板金職
山田上さん

(62歳/南通町)

建築板金一筋に従事し、卓越した技能・技術力を有しています。特に、銅板打ち出しの優れた技能には、たいへん定評があります。文化財となっている神社仏閣の補修も手がけるなど、伝統的な建造物の保存にも力を注いでいます。



菓子製造職
室岡登三男さん

(85歳/元町二丁目)

菓子屋横丁で和菓子作り一筋に従事。「川越いも」として有名なさつまいもを使用し、まんじゅうなどの商品を開発しました。昭和59年には川越菓子屋横丁会の発足に尽力し、現在も横丁の活性化に力を注いでいます。